

厚生文教委員会

委員長 伊藤英雄

副委員長 土屋 忍

委員 沢登英信 増田 清

大黒孝行 佐々木嘉昭

本委員会に付託された議

案は「静岡県後期高齢者医療広域連合の設置について」「下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について」「下田市立学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例について」「平成十八年度下田市一般会計補正予算」「下田市国民健康保険事業特別会計補正予算」「下田市介護保険特別会計補正予算」の六件です。

静岡県後期高齢者医療広域連合の設置について

現在国民健康保険やその他の医療保険(被用者保険)に加入する七十五歳以上の高齢者は、市町村が運営する老人保険事業により医療

の給付を受けておりますが平成二十年四月からは都道府県ごとに設立される「後期高齢者医療広域連合」に加入し医療の給付を受けることとなります。

今回の議案は、この「静岡県後期高齢者医療広域連合」(以下広域連合という)を平成十九年三月までに設立するというもので、静岡県の全市町単位の老人医療制度では高齢者医療費の増大に対応できないため、都道府県単位の組織に替えて規模を拡大することにより対応しようとするものです。老人医療対象者は、国民健康保険やその他の医療保険に加入して各々の保険に保険料を払っていましたが平成二十年四月からは広域連合に加入し保険料を支払うこととなります。新しい保険料がいくらぐらいになるかについては、これから決めていくこととなりますから今の時点では分かりま

せん。ただ、年額十八万円以上の年金を受け取っている人については、年金から特別徴収され保険料を納めることとなります。広域連合ができてから、いろんなことが決められていくことになり、決まりしだい市民の皆様には広報をしていくように当局に申し入れを行いました。

下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について

稲生沢幼稚園を平成二十年三月末で廃園にするという条例です。

幼稚園の統廃合については少子化のなかで幼稚園への入園希望者が減少していくことから、現在の五園体制では幼稚園での集団教育ができず、幼児のためにも進めていかざるをえないというのが委員会での意見でした。

議論になったのは、幼保一元化、あるいはこども園の設立をして地元で幼稚園機能を残すというながら、

突然に半年後には廃園をするという計画性のなさで教育委員会には「施設を常に良好な状態にしておく」という義務があります。それが廃園の理由に雨漏りがひどいからというのが入っている。雨漏りを修理する義務があるのに義務を果たさないで、廃園というのでは開き直りと無責任もここに極まったという批判が委員会です。

廃園という保護者や幼児にとって重要な問題についてはすくなくとも廃園の二年前には方針を決定すべきであるという意見も多くありました。

下田市立学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例の制定について

浜崎学校給食共同調理場の対象学校から「下田幼稚園」を削り、「白浜小学校」と「白浜幼稚園」を加えることと稲生沢学校給食共同調理場の対象学校から「稲生沢幼稚園」を削除するという条例改正です。

なお、「下田幼稚園」の給食は下田小学校の調理場で行うということでした。

行政視察報告

本委員会は十月二十三日(月)から二十四日(火)にかけて埼玉県深谷市と東京都小金井市に行政視察に行ってきた。埼玉県深谷市については「幼保一元化の取り組みについて」を目的として、幼稚園と保育園の一体施設「みらい幼稚園おかべ」を視察し、担当者から公立保育所三ヶ所と公立幼稚園四園を統廃合して設立したいきさつ、保育所と幼稚園の総合施設のもつ長所・短所問題点などの説明を受け、質疑の中でいろいろと考えさせられる事の多い視察でした。東京都小金井市は「ごみ処理有料化について」を目的として、下田市でも平成十九年から実施されるごみ袋・ごみ処理の有料化の現状と問題点及び解決策をさぐることを主眼にして、担当者から実施までの準備段